

我々非常に頼りない存在で、本当にいいと思つてやつてゐることが、一生懸命やつてゐる時には、ある意味において一番氣をつけなくてはいけない。いつでもニヒルでは困る訳ですけれども。洗い直してみたりしながら、やはりいつでも反対の自分といふものを作つて、やはりこれでいいんだ間違いないんだと確かめていかなくてはいけない。

それから悪そな時は、やつぱり素直にどんどん変えていく方がいいですねえ。いつも頑固に、固執するんぢやなくて、それが、いわゆるフレクシブルといふやつだと思うんですねえ。

自説を曲げないといふんぢやなくて、やはりそれでいいと思つたことは、それだけのことを練つた上でのこと、その上で良ければ、進んで行つても間違いが少くすむということではないでしょうか。

それからその努力のことですが、皆さん

は、特に子どもを扱つておられますし、私たちは患者、子どもを扱つてゐる訳です。しかし、政治家に頑張つてもらわなくちや困るんですけれども、自分が善意から努力して、人を巻き添えにしていいのかどうかですねえ。

自分が苦しい努力をするならいいんですけれど、それを押し付けて、その結果が悪かつた時の責任をどうするかというこ

幼児の教育 第七十七卷 第二号
二月号 ⑤ 定価二二〇円
昭和五十三年一月二十五日 印刷
昭和五十三年二月一日 発行
112 東京都文京区大塚二ノ一ノ一
お茶の水女子大学附属幼稚園内
編集兼発行者 津守真

112 東京都文京区大塚二ノ一ノ一
お茶の水女子大学附属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

108 東京都港区三田五ノ一二ノ一
お茶の水女子大学附属幼稚園内

印刷所 図書印刷株式会社

101 東京都千代田区神田小川町三ノ一
発行所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京九一一九六四〇番
○本誌御購読についての御注文は発売所
所フレーベル館にお願いいたします

※万一製品不良本がございましたら、おとりかえいたします。